

支所001	項目名	まつりフェスタ補助金
-------	-----	------------

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	39	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	1,944

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,944
-------	-------

本年度決算額	1,944
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,944
計		1,944

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】国府町総合支所 産業建設課 0857-39-0560

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P311 (支所001)

【事業の概要】
 「まつりフェスタ」は、平成4年度から殿ダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベントとして周辺住民の協力を得て始まった。以来、町内外から多数の参加者を迎え、国府地域を代表する観光イベントとして定着している。本事業は、豊かな自然と殿ダムの湖水を活用した地域が一体となるイベントを通して地域振興に資することを目的とし、国府地域の主要なイベントとして継続実施する。

【事業の成果】
 ≪実施概要≫
 主催：鳥取市国府町まつりフェスタ実行委員会
 時期：平成25年6月2日(日)
 場所：袋川(鳥取市国府町楠城地内)
 内容：まつり大会、まつかみどり、地域各種団体による特産品の販売等
 ≪事業実績≫
 平成23年度 1,944千円(参加者約350人:台風の影響)
 平成24年度 1,944千円(参加者約600人)
 平成25年度 1,944千円(参加者約600人)

【今後の課題・方向性】
 殿ダムを活用した地域の活性化策としてより一層の内容充実を図る。

(参考)	
前年度決算額	1,944

評価結果	殿ダム及び殿ダム周辺広場の完成に併せ、地域の活性化策としてより一層の内容充実を図る。
------	--

支所002	項目名	地域伝統芸能保存事業
-------	-----	------------

主要な施策	文化振興費	ページ	46
-------	-------	-----	----

所属名	国府町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555

【9次総の施策体系】1202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P311（支所002）

(単位:千円)

当初予算額	820
補正予算額	0
予算流・充用額	0

【事業の概要】
 「因幡の傘踊り」は徳川末期の雨乞い祈願に始まるが、その後明治時代に国府町高岡で冠傘から長柄の傘に変えたものが県東部地域を中心に普及。昭和49年には鳥取県無民俗文化財に指定、今や県の代表的伝統芸能として位置付けられている。
 「因幡の傘踊りの祭典」は、この民俗芸能を継承する各地の団体が「因幡の傘踊り」発祥の地「国府」に一堂に集い、互いの技術向上・交流及び「因幡の傘踊り」普及・発展に寄与することを目的として平成10年から実施されている。

最終予算額	820
本年度決算額	820

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【事業の成果】
 「因幡の傘踊り」発祥の地国府町で、県内外の保存会が踊りの披露及び交流を行い、お互いの技術向上、傘踊りの普及発展と伝承を図ることができた。
 また、鳥取市内の小・中学生、傘踊り愛好家のグループ等に出演を呼びかけ、傘踊りの指導や踊りの披露を通じて地域住民との交流と鳥取市のPRができた。
 平成23年度 820千円（参加者約2,000人）
 平成24年度 820千円（参加者約2,000人）
 平成25年度 820千円（参加者約2,500人）

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	262
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	558
計	820	

【今後の課題・方向性】
 国府地域の活性化策として、内容のより一層の充実を図る。

(参考)

前年度決算額	820
--------	-----

評価結果	伝統芸能の継承・保護を図る場として現在の形で継続。 傘踊り発祥の地として、地域の学校等と連携して教育の一環として保存・伝承に取り組んでおり、今後も継続する必要がある。
------	--

支所003	項目名	万葉集朗唱の会開催費
-------	-----	------------

主要な施策	文化振興費	ページ	46
-------	-------	-----	----

所属名	国府町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555
-------	----------------------------------

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位:千円)	
当初予算額	1,900

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,900
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,900
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	606
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,294
計	1,900	

【9次総の施策体系】1201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P312（支所003）

【事業の概要】
 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が国守として赴任し、万葉集の最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ、平成6年に因幡万葉歴史館を開館。以来「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。
 その一環として平成10年度から「万葉集朗唱の会」を開催してきており、県内外から多数の参加者を得て、万葉集への親しみや理解を深める機会として定着している。

【事業の成果】
 「万葉のふるさと」鳥取市国府町をPRするイベントとして定着しており、安定した集客力を得ている。参加者全員が万葉衣装を着て、自由な方法で朗唱を行う参加型のイベントであることも好評である。
 平成23年度 1,900千円（参加者約1,500人）
 平成24年度 1,900千円（参加者約1,700人）
 平成25年度 1,900千円（参加者約1,600人）

【今後の課題・方向性】
 国府地域の活性化策として、内容のより一層の充実を図る。

(参考)	前年度決算額	1,900
------	--------	-------

評価結果	地域住民による実行委員会組織主催のイベントで、参加者も年齢・性別を問わず県内外から幅広く、現在の形で継続することは妥当である。また、「万葉フェスティバルin鳥取」として「大伴家持大賞」との同日開催により相乗効果を生み出すよう工夫しているが、さらに万葉集への親しみや理解を深める内容の工夫など、より充実した取り組みが必要である。
------	---

支所004	項目名	万葉フェスティバル開催事業費
-------	-----	----------------

主要な施策	文化振興費	ページ	46
-------	-------	-----	----

所属名	国府町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555
 【9次総の施策体系】1201
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P312（支所004）
 【事業の概要】
 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。
 「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。
 平成21年の万葉集終焉から1250年を記念した「全国万葉フェスティバルin鳥取」を契機に、翌22年からは従来の「大伴家持大賞短歌募集事業」と「全国万葉フェスティバルin鳥取」の一部事業を統合し、さらに因幡の鳥取が重要な万葉故地であること、万葉のふるさと因幡の鳥取市を広く情報発信するため「万葉フェスティバルin鳥取」として実施している。
 【事業の成果】
 万葉集終焉の地・因幡の鳥取を全国に情報発信し、全国の万葉文化愛好者と大伴家持を顕彰し、鳥取市国府町の文化・観光の振興を図ることができた。
 また、地元新聞社に業務委託しており、全国報道ネットワークを活用した多彩なPR活動を展開し、全国から注目を浴びる取り組みを行ってきた。それにより本事業のPRにとどまらず市全体の多様な情報の発信にも繋がっている。
 平成23年度 3,400千円（参加者約1,500人）
 平成24年度 3,400千円（参加者約1,700人）
 平成25年度 3,400千円（参加者約1,600人）
 【今後の課題・方向性】
 国府地域の活性化策として、内容のより一層の充実を図る。

(単位:千円)

当初予算額	3,400
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	3,400
本年度決算額	3,400

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,084
地方債	0
その他	0
一般財源	2,316
計	3,400

(参考)

前年度決算額	3,400
--------	-------

評価結果	市の主要な文化事業のひとつと位置付ける全国的規模の事業である。現在は支所単独で実施しているが、本庁担当課との役割分担・連携により、より充実した取り組みが必要と考える。
------	---

支所005	項目名	ウォークラリー大会実行委員会補助金
-------	-----	-------------------

主要な施策	体育大会費	ページ	48
-------	-------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 国府町分室
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】教育委員会事務局 国府町分室 0857-39-0563

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P313（支所005）

【事業の概要】
 国府地域の豊かな自然と豊富な文化財を利用した「万葉のふるさと国府」を満喫しながら、地域の文化資源を体験することができるイベント。開始以来23年が経過して、国府の文化・自然体験イベントとして定着している。
 ・主催：鳥取市国府町万葉ウォークラリー実行委員会
 ・参加料：無料
 ・時期：平成25年10月5日
 ・場所：鳥取市国府町（谷地区周辺）
 ○史跡等チェックポイントを回るウォークラリー
 ○鍋の振る舞い等

【事業の成果】
 平成23年度 316千円（参加者数29チーム、119人）
 平成24年度 316千円（参加者数37チーム、162人）
 平成25年度 316千円（参加者数53チーム、224人）

【今後の課題・方向性】
 従来の参加者に加え、鳥取市全域の幅広い層に普及するよう、新味のある事業展開、同時期に開催される同種事業との協力等、内容の充実を図りたい。

(単位:千円)

当初予算額	316
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	316
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	316
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	316
計	316

(参考)

前年度決算額	316
--------	-----

評価結果	新味のある事業展開となるように実行委員会組織を拡充していきたい。また同時期に実施される殿ダムウォーキング大会とそれぞれの特徴を生かした連携を図り、より質の高い内容にしていきたい。
------	---

支所006	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業
-------	-----	-----------------

主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	36
-------	-------------	-----	----

所属名	福部町総合支所 産業建設課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	<p>【問合せ先】福部町総合支所 産業建設課 0857-75-2814</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P313（支所006）</p> <p>【事業の概要】 生産者を中心に各関係機関などが、現在抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修を重ねながら、継続的な産地の維持発展を図る。</p> <p>【事業の成果】 生産農家が抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修することにより、産地の維持発展と、生産技術の向上及び経営意欲の高揚の促進・生産振興・地域の活性化に寄与している。 くらっきょう生産振興大会開催に係る経費の一部助成 平成23年度 343千円 平成24年度 324千円 平成25年度 192千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取砂丘らっきょうは地域の基幹作物となっているが、高齢化による生産農家の減少に加え、切り人夫・植付け人夫の不足等の諸課題を抱えており、産地維持のため引き続き支援していく。</p>
-------	---

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	197

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	197
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	192
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	192
計	192	

(参考)	
前年度決算額	324

評価結果	生産農家やらっきょう情勢が抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修する場として是非とも必要な事業である。
------	---

支所007	項目名	各種団体負担金(むらづくり運動事業費、むらづくり大会補助金)
-------	-----	--------------------------------

主要な施策	各種団体負担金	ページ	45	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育総務費

(単位:千円)	
当初予算額	913

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	913
-------	-----

本年度決算額	878
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	878
計		878

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P314(支所007)

【事業の概要】
 住民による活気がある住み良い協働の地域づくりを促進するため、まちづくり運動の中心となる協議会に活動経費の一部を助成。

【事業の成果】
 福部まちづくり協議会への補助金の交付、及びまちづくり推進大会の講師謝金
 平成23年度 945千円
 平成24年度 870千円
 平成25年度 878千円

【今後の課題・方向性】
 今後のまちづくり運動の推進を図る上で、年々変化する社会情勢や地域の現状を踏まえ、実情に合った「地域コミュニティ計画」の基で事業が実施されているか、常に確認していく必要がある。

※地域コミュニティ計画：目標達成のため8つの重点目標を定め事業に取り組むための基本計画

(参考)	
前年度決算額	870

評価結果	住民自らが住みよい地域にするため、「地域コミュニティ計画」に基づき地域のさまざまな課題や問題を解決し、これまで進めてきた地域の特色を活かした地域活性化やまちづくりを更に前進させることが重要であり、今後も引き続き「まちづくり協議会」の活動を支援していく必要がある。
------	---

支所008	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費
-------	-----	-------------------

主要な施策	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	48
-------	-------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 福部町分室
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P314（支所008）

(単位:千円)

当初予算額	5,409
-------	-------

【事業の概要】
 本大会は、昭和60年国体（銃剣道種目）が福部村で開催されたことを記念して、翌々年の62年度から山陰海岸国立公園鳥取砂丘や特産品「鳥取砂丘らっきょう」「二十世紀梨」を全国にPRする目的で実施。
 種目にウォーキングも取り入れる等、鳥取砂丘の大自然とらっきょうの花の咲く素晴らしい環境の中、誰でも気軽に参加できる健康マラソン大会を目指す。

補正予算額	△790
-------	------

【事業の成果】
 平成23年度 5,073千円（参加者1,159人）
 平成24年度 4,938千円（参加者1,213人）
 平成25年度 4,615千円（参加者1,295人）

予算流・充用額	0
---------	---

【今後の課題・方向性】
 近年、参加者数が伸び悩んでいるため、大会の抜本的な改革も視野に入れながら参加者の増加策を検討し、更に魅力ある大会を目指す。

最終予算額	4,619
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	2,168
その他	0

本年度決算額	4,615
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	2,168
	一般財源	2,447
計	4,615	

(参考)

前年度決算額	4,938
--------	-------

評価結果	事業目的の効果を高めるため、大会内容の充実や大会のPR強化などを今までとは違った新たな視点で検討し、県内外からの多くのランナーが参加したいと思う魅力的な大会にしていきたい。
------	--

支所009	項目名	河原地域活性化推進事業費
-------	-----	--------------

主要な施策	新市域特別振興費	ページ	25
-------	----------	-----	----

所属名	河原町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111

【9次総の施策体系】0102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P315（支所009）

(単位:千円)

当初予算額	458
補正予算額	0

【事業の概要】
 新市域の活性化を図るため地域振興機能を強化するとともに地域審議会との連携による地域振興策を樹立し、地域住民との協働を基本とした地域振興策を確立する。

予算流・充用額	0
---------	---

【事業の成果】
 各小・中学校からあいさつ標語を募集し、優秀作品で標語看板を作成、各小中学校などに設置し、さわやかなあいさつ・声かけによる安心して暮らせるまちづくりに貢献した。不審者を寄せつけず、事件を未然に防止するため、地域住民と協働で青パトによる自主パトロールを行なった。
 平成23年度 266千円
 平成24年度 478千円
 平成25年度 306千円

最終予算額	458
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	306
--------	-----

【今後の課題・方向性】
 今後もより一層充実を図る。

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	306
計	306	

(参考)

前年度決算額	478
--------	-----

評価結果	地域住民と協働また、地域住民主体で行う当事業はとても重要で成果の高い事業であり、特に小中学生、地域住民の安全で安心な暮らしの確保等、更なる地域の防犯活動等に資するため、事業内容を毎年度検証しながら、事業を発展させる必要がある。
------	---

支所010	項目名	河原城イベント企画事業費
-------	-----	--------------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	河原町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111
-------	----------------------------------

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	1,394

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,394
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,394
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,394
計	1,394

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P315（支所010）

【事業の概要】
 河原城は平成6年の建設当初から地域の拠点、シンボルとしての事業を展開してきた。また、行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで、地域の活性化、まちおこしが図られている。河原の活性化、まちおこしを目的に、春の茶会は、チャリティー事業として収益を日赤等へ寄付している。

【事業の成果】
 河原城イベントとして、5月に茶会を、9～10月に月見会を開催し、下記のとおり集客を得た。

	茶会	月見
平成23年度	1,624人	1,100人
平成24年度	827人	419人（悪天候のため人数減少）
平成25年度	995人	682人

【今後の課題・方向性】
 鳥取自動車道の開通に伴い県外からの集客が図られたこともあり継続して実施する。開催時期により集客にばらつきがある。今後もより一層充実を図る。

(参考)

前年度決算額	1,394
--------	-------

評価結果	両イベントは地域イベントとして定着している。また日本赤十字社のチャリティーも毎年度取り組んでおり、とても価値の高いイベントとなっている。春・秋の行楽シーズンで来訪者があるが、天候に左右されて、雨天時の来場者が少ないなどの課題がある。今後、天候に左右されない集客方法、開催内容などの見直しとともに、情報発信の強化などを図り、地域内外からの来場者増を目指す。
------	---

支所011	項 目 名	フライトフェスティバル事業費
-------	-------	----------------

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	39	所 属 名
-------	-------------	-----	----	-------

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	400

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	400
-------	-----

本年度決算額	400
--------	-----

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	400
計	400

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P316（支所011）

【事業の概要】
 霊石山と千代川という立地条件を活かしたフライトフェスティバルは、河原のまちづくりイベントとして定着している。全国に因幡の白うさぎ伝説に登場する八上姫の生誕地である鳥取のかわはらと霊石山フライトエリアを広くPRするとともに、地元への経済効果県内外と地元との交流が期待される。

【事業の成果】
 事業主体：八上姫ジャパンレディースカップ実行委員会
 開催時期：9月
 平成23年度 0千円 参加者 0名（悪天候により中止）
 平成24年度 400千円 参加者69名
 平成25年度 400千円 参加者60名

【今後の課題・方向性】
 競技者人口減少により参加者も減少傾向にある。競技者以外の参加など内容を検討し今後もより一層充実を図る。

(参考)	
前年度決算額	400

評価結果	近年、競技人口の減少に伴い参加者の減少傾向が見られるが、ジオエリアでスカイスポーツの有数な拠点である当地域は、平成25年度に関係者主体による取り組みで環境整備を行われた。今後、このスカイスポーツ拠点を「ジオエリア」と「観光拠点」として、当地域を更なるフライトエリアとしての活用検討し、集客数の増と知名度アップを図る必要がある。
------	---

支所012	項目名	あゆ祭補助金
-------	-----	--------

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	39
-------	-------------	-----	----

所属名	河原町総合支所 産業建設課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	<p>【問合せ先】河原町総合支所 産業建設課 0858-76-3115</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P316（支所012）</p> <p>【事業の概要】 河原町は古くから「アユの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「アユの町」を広くPRするためにあゆ祭を開催する。</p> <p>【事業の成果】 平成25年で35回を迎え、夏の風物詩として定着している。また、市外からの入込客も多く、地元の経済効果も大いに期待されている。鮎の塩焼き、川下りレース、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会など年々入込数が増加している。 主催：あゆ祭企画実行委員会 開催日：平成25年8月第1土曜日（平成25年8月3日）開催 平成23年度 補助金 4,962千円 入込客数 22,000人 平成24年度 補助金 4,926千円 入込客数 22,000人 平成25年度 補助金 4,926千円 入込客数 22,500人</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の開通以降、年々近隣から車での入込客数が増加し、駐車場の確保が重要となっている。また、鳥取市観光協会ほか、鳥取市内で開催される夏祭等の日程調整をするとともに、今後も充実した事業展開を行う。</p>
-------	--

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	4,926

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,926
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,926
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,926
計	4,926	

(参考)	
前年度決算額	4,926

評価結果	<p>入込客等の右肩上がりを目指とするのではなく、河原の特性（身近な自然と気楽に遊ぶ。）を生かしたコンパクトかつインパクトのある祭（あゆのつかみどり・川下りレースなど更に充実）として継続していきたい。併せて、町づくり協議会等と協働で「河川クリーンクリーン作戦・千代川河川敷祭会場周辺の河川清掃」を引き続き継続しながら《河川を守りながら親しむ心》を未来に継承していきたい。</p>
------	---

支所013	項目名	町民スポーツの日開催費
-------	-----	-------------

主要な施策	体育大会費	ページ	48
-------	-------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 河原町分室
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】教育委員会事務局 河原町分室 0858-76-3122

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P317（支所013）

(単位:千円)

当初予算額	162
-------	-----

【事業の概要】
 平成12年度より実施。河原地域の市民を対象として健康増進及び生涯スポーツの普及拡大を願い、子どもから高齢者までスポーツを楽しむ日として「町民スポーツの日」を設けレクレーションスポーツ大会を実施する。レクスポーツの日常生活への定着化により健康増進を目指す。総合運動場等でグラウンドゴルフ大会等を開催。

補正予算額	0
-------	---

【事業の成果】
 平成23年度 平成23年6月 5日 グラウンドゴルフ大会 参加者136人
 平成24年度 平成24年6月16日 グラウンドゴルフ大会 参加者153人
 平成25年度 平成25年6月15日 グラウンドゴルフ大会 参加者175人

予算流・充用額	0
---------	---

【今後の課題・方向性】
 種目等を検討しながら引き続き実施する。

最終予算額	162
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	150
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	150
計	150	

(参考)

前年度決算額	139
--------	-----

評価結果	「河原地域市民スポーツの日」として定着し、河原地域市民の参加も年々増加している。種目については、誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会を近年開催しているが、他の種目も検討しながら引き続き事業を実施し、健康スポーツの普及を図る。
------	--

支所014	項目名	用瀬地域活性化推進事業費
-------	-----	--------------

主要な施策	新市域特別振興費	ページ	25
-------	----------	-----	----

所属名	用瀬町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111
-------	----------------------------------

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

当初予算額	2,363
-------	-------

補正予算額	△ 6
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,357
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,346
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,346
計	2,346

【9次総の施策体系】2101
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P317（支所014）
【事業の概要】 優れた自然景観等を地域資源として活用するため、市民との協働により整備を図るとともに、さらなる活性化に向けて過疎地域振興推進員を設置し地域資源の活用推進を図る。
【事業の成果】 ○地域資源活用整備 中津美整備事業：滝への取付道周辺の枝打・草刈・遊歩道の整備等 三角山遊歩道整備事業：遊歩道の整備（枝打・草刈等） 三角山周辺看板整備事業：三角山周辺の案内看板を修繕整備 洗足山登山道整備事業：遊歩道の整備（枝打・草刈等）及び入山届出箱の整備 ○過疎地域振興推進員の設置 用瀬地域の過疎化に関する課題解決・活性化を図るため過疎地域振興推進員を1名設置（平成25年4月～）し、各種活性化の取組みを実施。 ①定住体験施設の開設作業及び運営管理対応 ②町内の空家の調査及び利活用に結びつける方策の検討 ③地域住民と連携した災害時の避難場所などの点検
【今後の課題・方向性】 継続して地域住民のニーズ把握し、地域の整備を図る。

(参考)	
前年度決算額	573

評価結果	本町の豊かな自然環境（観光資源）を活用するための事業であり、事業を継続しそれらを維持するとともに、地域間交流を促進し地域活性化に繋げる取り組みとしていきたい。
------	---

支所015	項目名	ジゲおこし事業費
-------	-----	----------

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	39
-------	-------------	-----	----

所属名	用瀬町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	1,074

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,074
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,074
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,074
計	1,074

【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P318（支所015）

【事業の概要】
 昭和63年度から流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に始まった「用瀬町ジゲおこし事業」は、流しびなの里のイメージを内外に広めながら、ボランティアの委員で構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が地域の観光資源を活用して実施している。「用瀬ジゲおこし事業」のイベント開催経費及び実行委員会会議・事務費に補助するものである。

【事業の成果】

- ふれあいフェスティバル（平成25年8月31日）
参加者数 1500人
- 川遊びフェスティバル
（平成25年8月11日、平成26年3月23日の2回開催）
参加者数 延べ134人
- フリーマーケット（平成25年10月20日）
参加団体 5団体

【今後の課題・方向性】
 流しびなの里もちがせの地域活性化を図るため、多くの市民が参加するものであり、今後も必要な事業である。その他地域活性化の取り組み事業を検討することも必要と考える。

(参考)	
前年度決算額	1,074

評価結果	ふれあいフェスティバル及び川遊びフェスティバルの二つの事業はいずれも必要な事業であるが、今後は、これ以外の地域活性化に繋がる事業の検討など、あらゆる側面で検討を加えることが必要である。
------	--

支所016	項目名	前田直衛顕彰事業費
-------	-----	-----------

主要な施策	文化振興費	ページ	46
-------	-------	-----	----

所属名	用瀬町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 08578-87-2111
 【9次総の施策体系】1201
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P318（支所016）
 【事業の概要】
 用瀬町出身の日本画家故前田直衛氏は、郷土が誇る日本画家でありながら、一般にはあまり知られていない。平成27年には生誕100年を迎える氏の偉業を称え、功績を広く知らせることにより、市の文化芸術の促進及び用瀬地域の活性化を目的とする。
 1) 広報事業 紹介パンフレット及びパネル作成
 2) 地域交流事業 佐治・用瀬地域児童生徒絵画交流展
 3) 企画展の実施
 4) 生誕100年記念事業に向けた調査、準備
 【事業の成果】
 1) 広報事業
 ①前田直衛氏の紹介パンフレット10000部を作成し、市内外に配布
 ②同紹介パネルを7枚作成。企画展やギャラリーで掲示。
 2) 地域交流事業
 ①佐治用瀬地域の小中学校において、地元日本画家による絵画講習会を実施
 佐治小5,6年（平成25年9月） 用瀬小5年（平成25年10月）
 千代南中1年（平成26年2月）
 3) 企画展の実施
 ①用瀬町流しびなの館にて、市及び個人所有の作品を展示（平成25年4～5）
 この事業は地元団体（前田直衛顕彰会）に委託し実施することにより、地域住民の取り組みとして広がっている。
 【今後の課題・方向性】
 前田氏が平成27年に生誕100周年を迎えるにあたり、生誕100周年記念事業を実施するための準備を行う。また、地域交流事業を継続して実施する。

(単位:千円)

当初予算額	1,000
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	1,000
本年度決算額	1,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,000
	計	1,000

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	ふるさと納税を活用した取り組みであり、前田直衛画伯を顕彰するため地域内住民への周知と小中学生への絵画教室など積極的に実施している。平成27年に生誕100年記念事業の実施に向けて、継続して事業実施を行いたい。
------	---

支所017	項目名	町民音楽祭開催費(用瀬町)
-------	-----	---------------

主要な施策	市民音楽祭開催費	ページ	46
-------	----------	-----	----

所属名	用瀬町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111

【9次総の施策体系】1201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P319（支所017）

【事業の概要】
 用瀬町の3月3日の恒例行事として、用瀬町の音楽団体・園児及び小学生が一堂に会し童謡を歌うもので、平成25年度は第26回を数え、用瀬町の春を告げる行事として定着している。用瀬町民が一堂に会し、童謡・唱歌を歌うことにより、ふるさと用瀬のよさを再認識する。

【事業の成果】
 平成26年3月3日に用瀬町流しびなの館ふれあいホールで町民音楽祭を開催。地元の音楽団体6団体・保育所3園・小学校1校・中学校1校が出演し、約250名が参加した。

【今後の課題・方向性】
 今後も流しびなの里の春の恒例行事として継続する。

(単位:千円)

当初予算額	100
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	100
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	100
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	32
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	68
計	100	

(参考)

前年度決算額	100
--------	-----

評価結果	保育園児や小中学生をはじめ、コーラスグループなど約250人が一堂に会し童謡、唱歌を歌うものであり、ふるさと用瀬の良さを再認識する行事として定着しており、継続して実施したい。
------	--

支所018	項目名	用瀬流しびな行事
-------	-----	----------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	用瀬町総合支所 産業建設課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】用瀬町総合支所 産業建設課 0858-87-3786
-------	----------------------------------

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	2,133

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,133
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,133
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	521
地方債	0
その他	0
一般財源	1,612
計	2,133

【9次総の施策体系】1202												
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P319（支所018）												
【事業の概要】 毎年旧暦3月3日に無病息災を願って、千代川河原で棧俵に男女一對の紙雛をのせて千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事が実施されるが、それに合わせ観光イベントを実施することにより、地域の活性化を図る。												
【事業の成果】 主 催：用瀬流しびな実行委員会 期 日：平成25年4月12日（旧暦3月3日） 内 容：流しびな行事に要する費用（開催経費、PR用観光ポスター及びパンフレット作成費等）の補助												
<table border="1"> <tr> <th></th> <th>金額</th> <th>入込客数</th> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>3,766千円</td> <td>9,000人（2回開催）</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>500千円</td> <td>—（前年度2回開催により開催無し）</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>2,133千円</td> <td>6,000人</td> </tr> </table>		金額	入込客数	平成23年度	3,766千円	9,000人（2回開催）	平成24年度	500千円	—（前年度2回開催により開催無し）	平成25年度	2,133千円	6,000人
	金額	入込客数										
平成23年度	3,766千円	9,000人（2回開催）										
平成24年度	500千円	—（前年度2回開催により開催無し）										
平成25年度	2,133千円	6,000人										
【今後の課題・方向性】 実施期間の見直し等を行い、より一層の集客を図る。												

(参考)	
前年度決算額	500

評価結果	流しびな行事は、昭和60年に「もちがせの雛送り」として鳥取県無形民俗文化財に指定された後世に伝承すべき鳥取県を代表する民俗行事であり、春の風物詩として全国各地から多数の観光客が訪れる。地元住民が企画から、当日の運営まで実施していて、用瀬地域の一体化、活性化にも寄与しており、今後とも継続すべき事業である。
------	--

支所019	項目名	流しびなマラニック大会補助金
-------	-----	----------------

主要な施策	体育大会費	ページ	48
-------	-------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 用瀬町分室
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】教育委員会事務局 用瀬町分室 0858-87-3787

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P320（支所019）

【事業の概要】
 自分の体力に合わせて種目が選択できるマラニック大会を開催し、市民相互の健康づくりと親睦、健全なスポーツ活動の振興を図るとともに、「流しびなの里 用瀬」を広くPRする。

【事業の成果】
 第26回もちがせ流しびなマラニック大会を開催した。
 開催日：平成25年5月19日（日）第3日曜日
 会場：流しびなの館周辺

	参加者数
平成23年度	1,335人
平成24年度	1,485人
平成25年度	1,501人

【今後の課題・方向性】
 閉会式会場が参加者全員を収容することが出来ない。また、ボランティアスタッフの確保も限界が近づいており、参加者の制限などを検討することが必要となっている。

(単位:千円)

当初予算額	2,112
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	2,112
本年度決算額	2,112

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,112
計	2,112

(参考)

前年度決算額	2,112
--------	-------

評価結果	自分の健康に合わせてランとウォークの選択ができ、気軽に参加しやすく、アットホームな大会として好評を得ている。本市の一大イベントとして定着しており、継続して実施したい。
------	---

支所020	項目名	佐治地域活性化推進事業費
-------	-----	--------------

主要な施策	新市域特別振興費	ページ	25
-------	----------	-----	----

所属名	佐治町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211
-------	----------------------------------

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	2,414

補正予算額	△ 1,178
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,236
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,224
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,224
	計	1,224

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P320（支所020）

【事業の概要】
 ○さじ谷話フォーラム2013の開催
 ○佐治地域中山間地域振興推進員1人の配置

【事業の成果】
 今後の地域づくりや将来展望を見据えた講演会等を通じ、佐治地域の活性化や協働の推進が図られた。
 平成23年度 500千円
 平成24年度 479千円
 平成25年度 1,224千円

【今後の課題・方向性】
 佐治地域の活性化対策としてより一層の充実を図るとともに、地域住民との協働事業として取り組み、事業効果を確認のうえ、改善を図りながら継続して行う必要がある。

(参考)	前年度決算額	479
------	--------	-----

評価結果	市町村合併から10年が経過するが、佐治地域の魅力を発信し、地域の団体の活動活性化を継続させるためにもより一層の拡充が必要である。
------	--

支所021	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金
-------	-----	----------------

主要な施策	むらづくり活性化推進事業費	ページ	35	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業総務費

(単位:千円)	
当初予算額	1,485

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,485
-------	-------

本年度決算額	1,485
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,485
計	1,485	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211

【9次総の施策体系】5101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P321 (支所021)

【事業の概要】
 佐治地域の秋の収穫祭として第31回の佐治ふるさと祭りを佐治町総合支所周辺を会場に11月10日に開催。地産の農産物の販売や佐治町の各種団体の催し、多様な芸能アトラクションやレクリエーション的なゲームも実施し、参加者全員で祭りを体感した。

【事業の成果】
 総合的なイベントを通じ、佐治地域の産物や伝統芸能を広くアピールするとともに、地域の絆を深め、協働のまちづくりを進めることにより、個性あふれ誇りのもてる地域づくりが図られた。
 平成23年度 1,500千円
 平成24年度 1,485千円
 平成25年度 1,485千円

【今後の課題・方向性】
 佐治地域の活性化対策として、より一層の充実を図る必要がある。

(参考)	
前年度決算額	1,485

評価結果	佐治地域の豊かな自然や産物、伝統芸能、民芸品等を広くPRし、協働のまちづくりをより一層進めるためにも必要である。
------	--

支所022	項目名	文化振興費(佐治町)
-------	-----	------------

主要な施策	文化振興費	ページ	46
-------	-------	-----	----

所属名	佐治町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】教育委員会事務局 佐治町分室 0858-88-0218

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P321（支所022）

【事業の概要】
 佐治地域の宝である「佐治谷話」を保存伝承するため、佐治民話会への補助により、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動など、保存伝承に資する様々な取組を支援する。また、平成22年に国の「登録有形民俗文化財」に登録された「佐治の板笠」の製造技術を伝承するため、記録用DVDを作成する。

【事業の成果】
 国の「登録有形民俗文化財」に登録された佐治の板笠の製造技術の伝承や、前年度に実施した板笠の製作工程の記録を鳥取テレトピアに委託し、映像の編集と記録用DVDを作成した。また、指定文化財である佐治谷話の保存伝承事業に対し補助を行った。
 平成23年度 184千円
 平成24年度 182千円
 平成25年度 279千円

【今後の課題・方向性】
 佐治地域の文化保存伝承活動のより一層の充実を図る。

(単位:千円)

当初予算額	279
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	279
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	279
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	89
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	190
計	279	

(参考)

前年度決算額	182
--------	-----

評価結果	貴重な佐治町の文化民芸の保存・伝承に必要である。
------	--------------------------

支所023	項目名	さじアストロパーク企画イベント等事業費
-------	-----	---------------------

主要な施策	さじアストロパーク運営管理費	ページ	47
-------	----------------	-----	----

所属名	佐治町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	さじアストロパーク管理費

【問合せ先】鳥取市さじアストロパーク 0858-89-1011

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P322（支所023）

【事業の概要】
 さじアストロパーク3大祭り（星、月、雪）を行い、アストロパークの独自性を打ち出したプラネタリウム番組を作成し、プログラムの更新を行った。また、日本宇宙少年団鳥取アストロ分団の活動支援を行った。

【事業の成果】
 佐治地域の基幹施設としてPRが図れた。
 平成23年度 3,101千円 来場者数 18,757人
 平成24年度 3,070千円 来場者数 20,155人
 平成25年度 3,070千円 来場者数 19,447人

【今後の課題・方向性】
 ワンパターンのイベントから独自性のあるイベントへのチェンジ、佐治地域の住民との交流活動の一層の充実を図る必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	3,070
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	3,070
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	3,070
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	3,070
計	3,070	

(参考)

前年度決算額	3,070
--------	-------

評価結果	地域特性を活かした佐治地域の基幹施設であり、より一層の拡充が必要です。
------	-------------------------------------

支所024	項目名	睦逢大堤うぐい突き補助金
-------	-----	--------------

主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	39	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	93

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	93
-------	----

本年度決算額	93
--------	----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	93
計		93

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P322 (支所024)

【事業の概要】
 大堤池は農業用水として利用しており、毎年春に鯉や鮒を放流し、秋には池の底にたまった泥やごみなどを取り除くとともに、放流した魚を捕獲するため水抜きを行っている。この水抜きにあわせて行う魚獲りが「うぐい突き」と呼ばれる珍しい漁法で、400年以上前から伝えられており、今でも地元の農家により伝統行事として行われている。魚獲りに用いる「うぐい」は平成25年3月から国立歴史民俗博物館に常設展示され、全国的に貴重な伝統漁法である。
 主催：睦逢大堤うぐい突き保存会
 事業（実績）：鯉の稚魚を約200匹放流（4月、逢坂小学校児童参加）
 イベント開催（10月）約300名の参加

【事業の成果】
 うぐい突きをとおして、ため池の歴史や保全の必要性、地域の伝承行事と農業の関わりなどについて、広く市民に関心を持ってもらい、次世代へ継承されている。
 平成23年度 参加者300人 補助金額93千円
 平成24年度 参加者300人 補助金額93千円
 平成25年度 参加者300人 補助金額93千円

【今後の課題・方向性】
 より一層地域住民のニーズ把握を図りイベントを盛り上げていく。

(参考)	
前年度決算額	93

評価結果	400年以上前に鹿野城主亀井公が東南アジアから睦逢に伝えた漁法で、伝統漁法として大切に後世に伝承するとともに、地域住民の交流を促進し広く市民の関心を喚起し地域の賑わいを創出したい。
------	--

気高町総合支所
地域振興課

支所025	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金
-------	-----	-----------------

主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	39	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	1,598

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,598
-------	-------

本年度決算額	1,598
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	408
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,190
計	1,598	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P323 (支所025)

【事業の概要】
 浜村温泉街の再生を図るため、平成22年度から地域の活性化につなげる事業を実施し、貝がら節のふるさとである気高町を内外にPRしている。
 「貝がら節」をキーワードに、気高地域及び鳥取西地域への観光客の誘致を促進することにより本市の観光振興を図る。

【事業の成果】
 平成23年度は、地元中学生・ボランティアが京都造形芸術大学と協働で砂像を制作した。
 平成24年度は、引き続き、地元中学生・ボランティアが京都造形芸術大学と協働で砂像制作を実施した。
 平成25年度は、若手芸術家を中心とする地域ボランティアが京都造形大学と協働で砂像制作を実施した。また、浜村・逢坂のまちづくり協議会と交流を行った。

【今後の課題・方向性】
 地域住民の意見を取り入れ、より一層の活動を盛り上げていく。

(参考)

前年度決算額	1,571
--------	-------

評価結果	全国的に有名な「貝がら節」をキーワードに、気高地域への観光客の流入を促し交流人口を増やすとともに、産業・文化の振興など地域の活性化を促進したい。
------	--

気高町総合支所
地域振興課

支所026	項目名	貝がら節まつり補助金
-------	-----	------------

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	39
-------	-------------	-----	----

所属名	気高町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011
-------	----------------------------------

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

当初予算額	4,238
-------	-------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 13
---------	------

最終予算額	4,225
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,207
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	4,207
計	4,207

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P324（支所027）

【事業の概要】
 昭和46年頃、「七夕祭り」として実施されていたものが「貝がら節祭り」と名称を変え、現在も気高地域を代表する夏祭りとして受け継がれている。
 船磯海岸で水中花火の打ち上げ及び貝がら節にまつわる映像作品の公開、芸能ステージの開催、浜村観光道路で太鼓や吹奏楽のミニコンサート及び貝がら節総踊りを実施した。

【事業の成果】
 貝がら節祭りは、気高地域の夏を代表するイベントとして定着しており観光客の誘客に加えて、中高年層や子ども等幅広い年齢層が参加のする地域住民の交流の場となっている。

【今後の課題・方向性】
 浜村温泉の旅館等の廃業による観光客の減少、少子化による地域の人口減少など社会的な逆風はあるが、鳥取自動車道の全線開通や鳥取西道路の今後の開通予定など交通環境でのプラス面も期待できるので今後外部へのPRが重要になってくる。
 地域の伝統である貝がら節祭りを地域住民が主体となって積極的に関わることで、地域全体が一体となり、貝がら節をはじめ地域の観光資源の魅力を広く対外的に広めることで、より一層の地域振興を実現する。

(参考)

前年度決算額	4,207
--------	-------

評価結果	地域住民自ら貝がら節まつりを自分たちのイベントとして盛り上げていくという機運を醸成して行く必要がある。
------	---

支所027	項目名	ふるさと産業まつり(気多の市)補助金
-------	-----	--------------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	気高町総合支所 産業建設課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】気高町総合支所 産業建設課 0857-82-3154

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P323（支所026）

【事業の概要】
 浜村温泉街の活性化に向け、地域住民と商店街が一体となってイベントの開催を行っている。

【事業の成果】
 地域住民の交流と商店街の賑わいを創出し、気高地域の活性化に寄与するイベントの開催、フリーマーケットや屋台の出店を募り、賑わいの場となっている。
 平成23年度 参加者3,000人
 平成24年度 参加者3,500人
 平成25年度 参加者3,500人

【今後の課題・方向性】
 地域住民のニーズに応えた運営を行い、参加者の拡大を図る。

当初予算額	300
-------	-----

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	300
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	300
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	300
計	300

(参考)	
前年度決算額	300

評価結果	地域住民のニーズに応えた運営を行い、参加者の拡大を図る。 県内外へ広く気高地域をPRしていくことも取組んでいく。
------	---

支所028	項目名	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金
-------	-----	------------------------

主要な施策	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金	ページ	48
-------	------------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 気高町分室
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	500

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	500
-------	-----

本年度決算額	500
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	500
計	500

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【問合せ先】教育委員会事務局 気高町分室 0857-82-1411
 【9次総の施策体系】3103
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P324（支所028）
 【事業の概要】
 平成9年3月開始、合併後に気高スカロップ杯と名称変更し、鳥取市バレーボール協会主催で実施している。今回の開催で18回を数える。
 【事業の成果】
 鳥取市内の中学生に広くバレーボールの実践の機会を与え、技術の向上とスポーツマン精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成する。また、県外選手との交流の場を設けることにより、県域を越えた親睦を深める。県内外から選手役員が市内に宿泊することによる経済的効果も大きい。
 中国、四国、近畿地方から選抜された男女各12チームによるトーナメント戦。
 ◎平成23年度 平成24年3月24日（土）・25日（日）400名参加。
 男子優勝＝気高（鳥取市）、準優勝＝大東（雲南市）
 女子優勝＝玉湯（松江市）、準優勝＝米子北斗（米子市）
 ◎平成24年度 平成25年3月30日（土）・31日（日）400名参加。
 男子優勝＝菊間北郷（今治市）、準優勝＝安来第三（安来市）
 女子優勝＝米子北斗（米子市）、準優勝＝綾歌（丸亀市）
 ◎平成25年度 平成26年3月22日（土）・23日（日）400名参加。
 男子優勝＝気高（鳥取市）、準優勝＝大嶺（山口市）
 女子優勝＝口田（広島市）、準優勝＝鳥取南（鳥取市）
 【今後の課題・方向性】
 ◎平成26年度 平成27年3月21日（土）、22日（日）開催予定
 バレーボールの町気高町の伝統もあり町民の関心は高く、今後も引き続き開催する。

(参考)	
前年度決算額	500

評価結果	中学生に広くバレーボール大会の実践の機会を与えるとともに、技術の向上とスポーツマン精神の高揚を図り、心身共に健全な中学生の育成を目的とする当大会は、中学生のみならず県内外の選手、役員が気高地域に宿泊すること、更に地域情報が県内外へ発信されるなど経済効果も十分に見込まれるため、今後も継続、実施するものとする。
------	--

支所029	項目名	鹿野地域活性化推進事業費
-------	-----	--------------

主要な施策	新市域特別振興費	ページ	25	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	583

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	583
-------	-----

本年度決算額	488
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	488
計		488

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P325（支所029）

【事業の概要】
 平成18年度から地域の活性化を図るため、「四季薫るまち鹿野」を基本理念に、安らぎやゆとりを感じる事ができるまちづくりを目的として、協働による景観の創出に取り組んでいる。また、鹿野を訪れる方に良好な景観を提供することにより、交流人口の増加と地域の活性化に繋がっている。

【事業の成果】
 鹿野地域は住民との協働によるまちづくりを進めている。住民が地域づくりに参加することにより、地域の一体感の醸成と活性化が図ることができた。
 また、地域住民や来町者に快適な景観空間等の提供により、鹿野のイメージアップにつながっている。
 ○旧鹿野小学校の鳥小屋を「あずまや」に改修
 ○旧花壇を「ナチュラルガーデン」に整備
 ○休耕田を花畑に整備（春は菜の花・レンゲ、秋はコスモス）
 平成23年度 579千円
 平成24年度 584千円
 平成25年度 488千円

【今後の課題・方向性】
 地域の活性化や交流人口を増加させるため、住民と協働のまちづくりを行っていく。

(参考)	
前年度決算額	584

評価結果	総合支所と地域住民による協働の取り組みは、地域の一体感の醸成や地域の活性化に繋がり、今後まちづくりを進めていくうえでも重要である。
------	---

鹿野町総合支所
地域振興課

支所030	項目名	わったいな祭事業費
-------	-----	-----------

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	39
-------	-------------	-----	----

所属名	鹿野町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011
-------	----------------------------------

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

当初予算額	2,741
-------	-------

補正予算額	△ 1,627
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,114
-------	-------

本年度決算額	1,113
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,113
計	1,113

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P325（支所030）

【事業の概要】
 地域の活性化や交流人口の増加を図るため、城下町内、中央公民館、河川公園を会場にイベントを開催する。住民団体と行政が連携して開催することにより、住民の地域づくりの意識向上に繋がっている。また、住民の作品展示や芸能活動を発表することにより、文化・芸術の振興を図っている。地域の魅力を町内外に発信することにより、通年を通じた交流人口の増加につなげていく。

【事業の成果】
 日 時：平成25年10月26日（土）・27日（日）
 ※街並み会場、河川公園会場については大型台風接近により中止
 ○中央公民館会場 10月24日（木）～10月27日（日）
 文化芸術活動に励んでいる住民の成果発表を実施した。個人、団体を問わず、作品の展示や発表会を開催することで、文化・芸術の振興が図れた。

	決算額	参加人数（延べ）
平成23年度	2,697千円	14,800人
平成24年度	2,741千円	18,500人
平成25年度	1,113千円	690人

【今後の課題・方向性】
 交流人口を増やすためには、リピーターを増やすことが必要である。何回でも来てみたくなるためには、常に新しいことも取り入れ、飽きのないイベントとする必要がある。

(参考)	
前年度決算額	2,741

評価結果	行政と住民団体の協働による事業であり、住民の地域づくりに対する意識向上と地域の活性化を図るうえで重要なイベントであり、今後も来場者を増やす工夫をしながら継続していくことが必要である。
------	---

支所031	項目名	町民音楽祭開催費(鹿野町)
-------	-----	---------------

主要な施策	市民音楽祭開催費	ページ	46
-------	----------	-----	----

所属名	鹿野町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011
 【9次総の施策体系】1201
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P326(支所031)
 【事業の概要】
 昭和62年から町おこしの一環として、多くの住民参画による新たな地域文化を創造するため、毎年開催されているミュージカルを上演する事業に対して助成を行う。

(単位:千円)	
当初予算額	3,200

【事業の成果】
 プロとアマチュアが協働で創り上げる鳥取スタイルの市民ミュージカルとして定着している。また、地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等に繋がった。今回はオリジナル新作の6作目で、亀井茲矩公の朱印船貿易を題材にしたものである。昼・夜の二回公演を行い、入場者782人、出演スタッフ約150人であった。

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

【事業名】	第27回ふるさとミュージカル「アユタヤにはじけて候」上演	
【事業期間】	※上演期日 平成25年11月10日(日)	
【事業場所】	鳥取市立鹿野町中央公民館特設会場(上演場所)	
【事業主体】	鹿野町民音楽祭実行委員会	
【総事業費】	5,723千円	
	決算額	観客人数
	平成23年度 3200千円	727人
	平成24年度 3200千円	753人
	平成25年度 3200千円	782人

最終予算額	3,200
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	3,200
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	3,200
計	3,200	

【今後の課題・方向性】
 鹿野町民音楽祭実行委員会の自主財源確保策を考える必要がある。ミュージカルの上演方法・場所など効率的な運営を検討していく必要がある。

(参考)	
前年度決算額	3,200

評価結果	入場者増加策、料金の見直し及び上演方法などの検討を行っていく必要はあるが、地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等に繋がるなどの効果が期待できるため継続する。
------	---

支所032	項 目 名	スポーツクラブ鹿の助委託金
-------	-------	---------------

主要な施策	総合型地域スポーツクラブ育成事業費	ページ	48
-------	-------------------	-----	----

所 属 名	教育委員会事務局 鹿野町分室
-------	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】教育委員会事務局 鹿野町分室 0857-84-2131

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P326（支所032）

(単位:千円)

当初予算額	266
-------	-----

【事業の概要】
 住民の健康・体力づくりやトレーニングルームの利用促進のため、総合型地域スポーツクラブ「鹿の助スポーツクラブ」へスポーツ教室等の開催を委託する。子どもから高齢者までの健康・体力づくり教室の開催を中心に委託する。

補正予算額	0
-------	---

【事業の成果】
 計画どおり事業を実施し、住民の健康・体力づくりやスポーツ振興を図った。

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	266
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

	金額	参加人数(延べ)	実施内容
平成23年度	264千円	未集計	柔道、ストレッチ教室
平成24年度	204千円	870人	柔道、水泳教室
平成25年度	266千円	1,158人	柔道、健康づくり教室

本年度決算額	266
--------	-----

【今後の課題・方向性】
 引続き総合型地域スポーツクラブを支援し、多くの住民の健康の増進に寄与する。

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	266
計	266

(参考)

前年度決算額	204
--------	-----

評価結果	スポーツ教室等への参加者を増加させる取り組みを推進し、より多くの町民の健康の増進に繋げるため本事業を継続する。
------	---

支所033	項目名	日中韓高校生国際シンポジウム開催事業
-------	-----	--------------------

主要な施策	国際交流促進費	ページ	25
-------	---------	-----	----

所属名	青谷町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011

【9次総の実施体系】5401

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P327（支所033）

（単位：千円）	
当初予算額	752

【事業の概要】
 国際化推進と青少年の国際理解を通じた人材育成を図るため、青谷高校で開催。交流の深い中国太倉市と韓国居昌郡の学生等を招致しシンポジウムを開催（今回で17回目）。

補正予算額	0
-------	---

【事業の成果】
 中国と韓国から訪問団を4日間受け入れ、周辺地域の視察及び若者同士の交流を図った。シンポジウムでは、参加国の代表者各1名が、サブテーマに沿って意見発表を行い、会場一体となった意見交換を行った（中国は都合により代表者不参加のため代理が意見発表）。また、各国の舞踊等のアトラクションを行い、直接外国の若者の意見を聞ける場やふれあう場を提供し、国際理解教育と国際交流の推進を図った。

予算流・充用額	0
---------	---

平成23年度 438千円 9月2日開催（訪問団受入9月1日～4日）
 平成24年度 367千円 9月27日開催（訪問団受入9月25日～28日）
 平成25年度 394千円 9月26日開催（訪問団受入9月24日～27日）

最終予算額	752
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	394
--------	-----

【今後の課題・方向性】
 地域に根付いた事業であり、地域と一体となって交流を進め、鳥取県立青谷高等学校との協働事業として国際交流の場を提供する。

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	394
	計	394

(参考)	
前年度決算額	367

評価結果	高校生をはじめとする青少年の国際理解を通じた人材育成だけでなく、青谷地域さらには市全域の国際交流を推進するため、より多くの一般市民がシンポジウムへの理解や関心を深め、関わりを増やす必要がある。
------	--

支所034	項目名	青谷地域活性化推進事業費
-------	-----	--------------

主要な施策	新市域特別振興費	ページ	25	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	853

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	853
-------	-----

本年度決算額	655
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	655
計		655

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011

【9次総の施策体系】0102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P327（支所034）

【事業の概要】
 地域住民主体で青谷の魅力を残すための活動組織「青谷地域づくり連絡協議会」が行う下記の取組みなどに対し支援する。
 ○因州和紙で作製した灯ろうの日置川岸への設置
 ○青谷町の海岸を保全する海岸清掃活動「鳴り砂クリーン作戦」の実施
 ○「あおや鳴り砂ビーチフェスタ」の開催（悪天候のため部分的に事業中止）
 ○JR青谷駅をギャラリーにした観光資源PR活動の実施 など

【事業の成果】
 地域住民団体が主体となって相互に協力して地域振興のための活動に取り組み、これらの活動を通して地域の魅力を地域内外に発信し、参加したり、関心を持ったりする市民が増えつつある。地域の活性化という点では、まだ十分とは言えないところもあるが、市として支援した成果は上がっている。
 平成23年度 722千円
 平成24年度 766千円
 平成25年度 655千円

【今後の課題・方向性】
 青谷地域の活性化をさらに図るべく、地域づくり活動団体を継続して支援していく。

(参考)	
前年度決算額	766

評価結果	青谷地域の活性化のため、市として引き続き事業を実施し、住民による地域づくりの活動を支援していく。
------	--

青谷町総合支所
地域振興課

支所035	項目名	青谷ようこそまつり事業補助金
-------	-----	----------------

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	39	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	3,816

補正予算額	△ 2,454
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,362
-------	-------

本年度決算額	1,361
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,361
計	1,361

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P328（支所036）

【事業の概要】
 因州和紙、国史跡青谷上寺地遺跡をはじめとする青谷町の魅力をPRすべく、昭和63年度より「青谷ようこそまつり」を開催している。

【事業の成果】
 台風27号の影響に伴い、一部事業のみを実施した。
 ○事業主体：青谷ようこそまつり実行委員会
 ○実績：ようこそ書道コンクールを実施し11,110点の応募を得た。入賞作品をあおや和紙工房に展示した。地元和紙工芸グループによる和紙工芸無料体験も併せて実施し、因州和紙の魅力をPRした。
 書道コンクール入賞作品展（10月31日～11月8日） 入場者869人
 和紙工芸無料体験（11月1日～11月4日） 体験者107人
 平成23年度 4,096千円
 平成24年度 4,087千円
 平成25年度 1,361千円

【今後の課題・方向性】
 同時期に同様なイベントが西部地域で実施されているので、西部地域の交流も視野に入れ、イベントの運営方法などを十分検討したうえで、地域の特色を盛り込んだ地域住民主体の「まつり」となるよう改善し、実施していく必要があると思われる。

(参考)	
前年度決算額	4,087

評価結果	同時期に同様なイベントが西部地域で実施されているので、西部地域の交流も視野に入れ、イベントの運営方法などを十分検討したうえで、地域の特色を盛り込んだ地域住民主体の「まつり」となるよう改善し、実施していく必要があると思われる。
------	--

青谷町総合支所
地域振興課

支所036	項目名	あおや和紙工房管理事業費(企画展示事業)
-------	-----	----------------------

主要な施策	伝統産業等支援事業費	ページ	39	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	3,500

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,500
-------	-------

本年度決算額	3,500
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	3,500
	その他	0
	一般財源	0
計	3,500	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所 産業建設課 0857-85-0015

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P329(支所037)

【事業の概要】
 平成14年8月に特産品の因州和紙のPRと町の活性化を目指し「あおや和紙工房」が開館。平成16年7月から指定管理者制度へ移行。あおや和紙工房において、和紙の魅力と和紙の持つ可能性を示す展示会を年間を通し開催している。

【事業の成果】
 和紙をモチーフとした様々な展示会を開催することにより、和紙の持つ魅力と可能性をPRすることができた。また、展示会開催により鳥取市内外から多くの観光客が青谷町を訪れている。

	金額	施設入館者	うち企画展等入館者
平成23年度	3,500千円	12,394人	10,527人
平成24年度	4,100千円	18,236人	16,690人
平成25年度	3,500千円	18,581人	14,249人

【今後の課題・方向性】
 入館者の増加及び因州和紙のPRを促進し、和紙産業の振興を図っていく。

(参考)	
前年度決算額	4,100

評価結果	企画展は効率的な集客方法であり、またPR方法でもある。当事業を継続することが望ましい。
------	---

支所037	項目名	あおや夏祭り事業
-------	-----	----------

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	39
-------	-------------	-----	----

所属名	青谷町総合支所 産業建設課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	<p>【問合せ先】青谷町総合支所 産業建設課 0857-85-0015</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P329（支所038）</p> <p>【事業の概要】 町の活性化と商業振興を目的として開催する「あおや夏まつり」は、継続して実施することで多くの住民に認知され、地域住民に親しまれるイベントとなっている。 （開催内容）ステージイベント：小学生集団演技、歌謡ショーなど 会場イベント：軽食・デザート屋台、ドリンクバザー、金魚すくい</p> <p>【事業の成果】 鳥取市西商工会にあおや夏まつり事業に対する補助金を助成することにより、観光振興及び商業振興を図ることができる。継続して実施されている事業であり、現在も多くの地域住民に愛され親しまれている。また、ステージイベント開催等により町外からの入場者もあり、交流人口の増加が見込まれる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>633千円</td> <td>2,000人</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>633千円</td> <td>2,000人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>633千円</td> <td>2,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 夏の一大イベントとして継続して実施する。また、内容等工夫し青谷地域外からの入場者増加に努める。</p>		金額	入場者数	平成23年度	633千円	2,000人	平成24年度	633千円	2,000人	平成25年度	633千円	2,000人
	金額	入場者数											
平成23年度	633千円	2,000人											
平成24年度	633千円	2,000人											
平成25年度	633千円	2,000人											

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)

当初予算額	633
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	633
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	633
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	633
計	633

(参考)

前年度決算額	633
--------	-----

評価結果	観光及び商業振興を図ることを目的としているが、夏の一大イベントとしても定着し多くの地域住民に親しまれている。多様なステージイベントやバザーに多くの来場者が訪れ、商業関係者の志気志気が存続することにつながっているため現状維持としたい。
------	--